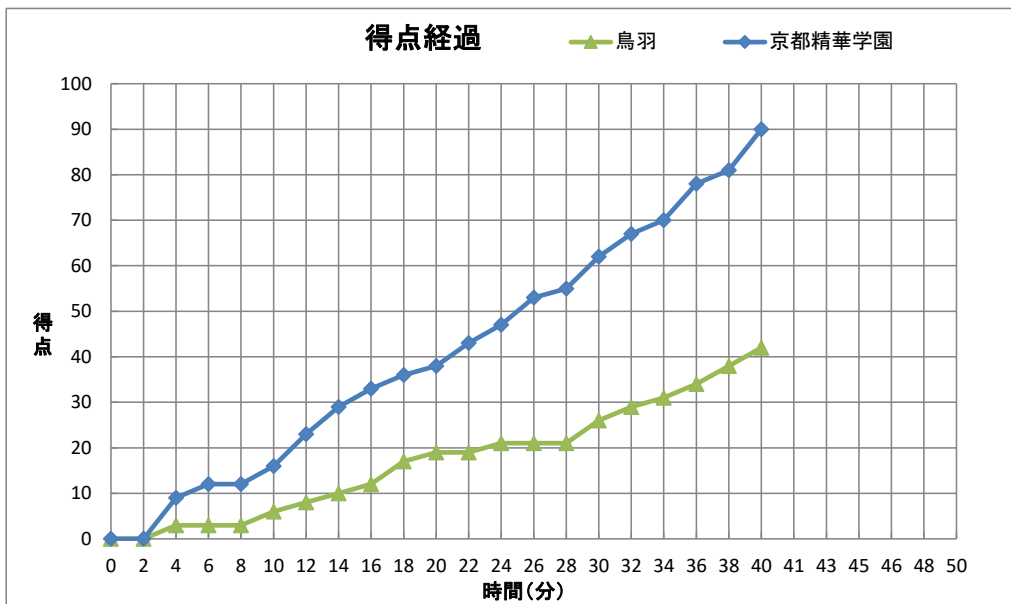




第44回京都府高等学校バスケットボール選手権大会 兼
第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会 京都府予選

個人トータル表

男子		11月4日				11:10 開始																
決勝リーグ		島津アリーナ京都				Mコート																
鳥羽	42	<table border="1"> <tr><td>6</td><td>1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>13</td><td>2nd</td><td>22</td></tr> <tr><td>7</td><td>3rd</td><td>24</td></tr> <tr><td>16</td><td>4th</td><td>28</td></tr> </table>				6	1st	16	13	2nd	22	7	3rd	24	16	4th	28	90	◎ 京都精華学園			
6	1st	16																				
13	2nd	22																				
7	3rd	24																				
16	4th	28																				
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則									
* 2	坂本 立輝	15	2	4	1	2	2	西村 康太郎	2	0	1	0	0									
10	中西 琉	-	-	-	-	-	* 6	上野 叶翔	16	2	5	0	0									
* 11	杉村 虹	4	0	2	0	2	* 7	善山 莞太	9	1	3	0	0									
13	清沢 光聖	5	1	1	0	1	13	新開 温矢	-	-	-	-	-									
14	田村 成	-	-	-	-	-	14	西村 晴太	3	1	0	0	0									
* 21	鬼塚 彩叶	4	0	2	0	2	* 15	西本 圭汰	9	1	3	0	2									
* 23	河内パー 瀬那	2	0	1	0	4	17	善山 奏介	3	0	1	1	0									
24	西村 俊輔	2	0	1	0	1	19	竹村 寅治郎	2	0	1	0	1									
31	中谷 優太	5	1	1	0	5	21	杉原 拓	7	1	2	0	1									
32	國門 奏輝	-	-	-	-	-	23	東郷 然	-	-	-	-	-									
34	高久 凌聖	2	0	1	0	2	32	中村 太優	2	0	1	0	1									
36	福嶋 大翔	-	-	-	-	-	34	キモナ ディエウ	2	0	1	0	0									
* 43	上田 雄介	0	0	0	0	1	* 35	山崎 燦吾	9	1	2	2	1									
56	岸 悠惺	-	-	-	-	-	* 77	ソロモン レイモンド	14	0	5	4	1									
89	八木 和樹	3	1	0	0	1	89	松崎 大地	12	0	4	4	1									
コーチ	福嶋 一夫					0	コーチ	山崎 翔一朗					0									
Aコーチ	山下 龍之介						Aコーチ	常谷 拓真														
合計		42	5	13	1	21	合計		90	7	29	11	8									
主審: 加藤 毅 副審: 大溝 貴広 副審: 片山 雄一郎																						



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	8:32	12:50	22:02	35:46	:	:	:	:
TeamB	14:58	:	33:48	:	:	:	:	:

〔戦評〕
 決勝リーグ最終日、勝者が3枠目のウィンターカップ出場権を獲得する大一番の試合。選手及びに応援席も熱気溢れる状況でゲームスタート。
 第1Q 両チームハーフコートマンツーマンで開始。両チーム激しいプレッシャーディフェンスにより外からシュートを放つが中々先制点が奪えない。そこでシュートを決めたのは鳥羽#2。ドライブからフローターシュートで先制点。しかし、京都精華学園#6が気迫の2本連続3Pを決めお返し。さらに、#15も3Pを決めリードする展開。鳥羽はリバウンドから速攻で流れを作り、#2のコーナー3Pで得点。お互いチームディフェンスが機能し、鳥羽6-16京都精華学園で第1Q終了。
 第2Q 開始早々、京都精華学園#35が3P、巧みなドリブルワークでゴール下に合わせて躍動する。対する鳥羽は#11が2本の速攻でやり返す。しかし、京都精華学園#6スティールから得点。たまたま、第2Q残り6分鳥羽タイムアウトを要求する。タイムアウト明け、鳥羽は2-1-2ゾーンディフェンスに切り替える。それに対し京都精華学園#77がオフェンスリバウンドを取りゴール下を制圧する。その後は、両チーム3Pの打ち合いに。鳥羽のエース#21が落ち着いて3Pを決め、鳥羽19-38京都精華学園で前半終了。
 第3Q 両チームハーフコートマンツーマンで後半開始。京都精華学園は#6のドライブ、#7の3Pで勢いにのる。何とか流れを掴みたい鳥羽はここでも#21が気迫のジャンプシュートを決める。しかし、京都精華学園はゾーンプレスを仕掛け自由にプレーさせない。鳥羽#2、京都精華学園#17が互いにドライブからレイアップを決め、鳥羽26-62京都精華学園で最終Qへ。
 第4Q 序盤、鳥羽#31がコーナーから3Pで喰らいつく。京都精華学園は1年生がコートに4人入り、#17、#35、#21、#89が縦横無尽にプレーし、次々と得点していく。鳥羽はオールコートマンツーマンディフェンスでプレッシャーをかけ逆転を狙う。最後まで鳥羽はドライブで仕掛け得点するが開いた点差は大きく、鳥羽42-90京都精華学園で京都精華学園が勝利した。
 京都精華学園は3位でウィンターカップに出場。全国での活躍に期待したい。